

Press Release

◆ 内容についてのお問い合わせ

JICA東京国際センター 中沢 美保子 TEL:03-3485-7079

Nakazawa.Mihoko.2@jica.go.jp

埼玉の経験を世界に！**～教育分野の研修で、埼玉県立総合教育センターを訪問～**

JICA が途上国を対象に実施する研修「カリキュラム・教科書・アセスメントにおける一貫性に配慮した政策策定能力・体制強化」の一環で、7ヶ国から17名の研修員が埼玉県に来訪し、県の教育行政や県立総合教育センターの取り組みについて学びます。

途上国の多くでは、カリキュラムや教科書に見られる意図されたカリキュラム、実際に教室で行われている実践されたカリキュラム、生徒の学習評価を通じて明らかになる達成されたカリキュラムに一貫性がなく、学びの質が深まらないという問題があります。

本研修を通して研修員がカリキュラム・教科書・アセスメントの一貫性の重要性について理解を深め、改善に向け自国における取り組みを開始することが期待されています。

本研修は JICA が実施する研修員受入事業にて実施されており、日本の教育分野の取り組みを学び各国の取り組みに活かしてもらおうというもので、JICA の教育分野の課題別研修の中で基幹コースと位置付けられています。今般、このコースの一環で 9 月 26 日に埼玉県を訪問し、埼玉県の取り組み事例について学びます。

スケジュール

日 程：9月26日（火）

場 所：10:00-16:00 埼玉県立総合教育センター

訪問者：JICA 研修員 17 名+同行者 5 名（アイ・シー・ネット株式会社関係者及び通訳）

JICA 研修員内訳：アフガニスタン（3名）、バングラデシュ（2名）、カンボジア（2名）、ラオス（3名）、ネパール（2名）、パプアニューギニア（2名）、ミャンマー（3名）（以上、7ヶ国17名）

以 上

注) JICA が政府開発援助 (ODA) の一環として技術研修のために受入れている開発途上国の人材は、「研修生」ではなく、「研修員」ですので、視聴者/読者が誤解しないよう、正確な報道をお願いいたします。

※記事が掲載されましたら、お手数ですが、上記担当宛てご一報いただければ幸いです。